

「松川の歴史上の人物とその名字の由来」 発刊に寄せて…………… 福島市役所松川支所長 永倉 正 I
 はじめに…………… 編者 三浦富治 III

目次

第一章 名字の発生と移り変わり…………… 1

 第一節 名字の発生…………… 2

 第二節 古代…………… 2

 氏と姓・源平藤橘・下賜された姓氏・藤原氏・藤原氏の分家・橘氏・源氏・平氏…………… 2

 第三節 平安時代…………… 5

 新撰姓氏録・土地制度に由来する苗字・京都の地名に残る名字…………… 5

 第四節 鎌倉時代・南北朝時代…………… 7

 名字の地・鎌倉幕府による名字の移動・東北の古代・奥州合戦(奥州征伐とも)

 (一) 福島県…………… 10

 (二) 宮城県…………… 11

 (三) 山形県…………… 12

 (四) 岩手県…………… 13

第五節 戦国時代	13
名字拝領	
第六節 江戸時代	13
名字帯刀・檀家制度(寺請制度)・江戸時代の戸籍制度	
第七節 明治時代	15
明治初期の苗字政策・府県奉職規則・苗字許可令と苗字必称令の布告・百姓町人の苗字に対する考 え・壬申戸籍・明治新姓の実態	
第八節 名字・苗字と姓や氏	17
第二章 信達一統志などに見る信夫郡・伊達郡・福島県発祥の名字	19
第三章 松川の歴史上の人物とその名字の由来	23
第一節 平安時代	24
第二節 鎌倉時代・南北朝時代	25
奥州合戦と松川と佐藤氏・いとどの清水にかかわる姓・平館に居城した大竹和泉守	
第三節 戦国時代	30
伊達氏と八丁目城・天文の乱・関谷村を拓いた斎藤氏・伊達氏の家臣、遠藤基信は八丁目生まれ・浅 川村を開発した尾形兄弟・泉龍寺、西光寺建立は加藤氏・八坂神社を勧請した中村氏・相馬軍浅川ま で攻め入る・秀吉の検地令の本拠地となった八丁目城・蒲生氏の信達支配・杉目城を福島城と改め	

た木村吉清・信濃の武士が常円寺を建立

第四節 江戸時代

浅川村を分村し若宮駅をつくった名主長南出雲・唯称山常念寺を建立した桜内氏・二本松藩の成立と丹羽氏の移封・金三郎堀の築造者は阿部氏・福島城主や代官の氏・福島藩主板倉氏の誕生・代官岡田氏の支配・画家池大雅と八丁目・八丁目の鋳物師・県指定重要文化財の木像阿弥陀如来像の寄贈者藤倉氏・水原下村名主丹野氏・名主・検断・高橋氏と猿之助・戊辰戦争中浅川で斬殺された中村氏・「松川村」命名は菅野氏・沼袋村名主橋本午介氏・和算の師匠野地弥源太氏と門弟丹治明齋氏

第五節 近代

一 明治時代

寺子屋師匠の氏・金谷川の歌人明石氏・初代松川小学校長は田島氏・明治天皇がおやすみになった添田家・道路改修と県令(知事)三島氏・私費で橋を架設した川崎氏・明治初期の医師、大谷氏と幡氏・明治病院の創設者は松川の幡氏・水原の初代村長は服部氏・村会議員となった玉城氏・トテ馬車経営者の清水氏・市場開設した浅沼氏・小林氏など・松川駅前金融会社経営した朝倉氏・酒井幸太郎氏は太鼓の名手

二 大正・昭和時代

殉職した高崎巡查・松川鉦山の繁栄と平石氏

第六節 現代

公民館の普及に尽力した今井氏・松川事件で殉職された石田機関士・校舎建築に尽力した風間町長・教育委員会の設置と委員の選挙・新松川町二代目町長菊地氏・新松川町三代目町長茂木氏 県教育長になった大槻氏

第四章 名字の地域性

第一節 府県別地方別の名字の特徴

(一)	北海道・東北	78
(二)	関東	79
(三)	北陸・甲信	79
(四)	東海	79
(五)	関西	80
(六)	中国	80
(七)	四国	80
(八)	九州・沖縄	80
第二節	全国と東北の比較	81
第三節	福島県の特徴	81
第四節	福島市と松川町	82
第五章	松川町の名字	83

参考図書	109
おわりに	107
さくいん	106
(八) 美郷	99
(七) 下川崎	98
(六) 沼袋	96
(五) 水原	94
(四) 金沢	93
(三) 浅川	92
(二) 関谷	91
(一) 旧松川町	84